

中国地方におけるトンネルの合理的設計・施工に関する研究(平成30年度)

NPO 法人臨床トンネル工学研究所 名誉会員 中川浩二

岡山県土木部道路建設課 非会員 宮崎俊明

岡山県土木部道路建設課 非会員 ○川末裕洋

1. 目的

「中国地方におけるトンネルの合理的設計・施工に関する研究会」では、当地方におけるトンネルの調査、設計、施工、維持管理に関する資料を収集・整理して、今後の合理的なトンネルの設計・施工に資することを目的として継続的に活動を行っており、本講は平成30年度の活動内容を報告するものである。

2. 研究会の構成員

本研究会の構成員は、会長である NPO 法人臨床トンネル工学研究所の中川浩二理事長及び山口大学工学部の進士正人教授の二名の学識経験者のほか、国土交通省中国地方整備局、西日本高速道路(株)、中国5県、中国地方の政令市2市及び広島高速道路公社の代表者である。

これは、道路トンネルの工事発注者の立場として、各々所有しているトンネルの調査、設計、施工、維持管理に関する資料といった情報・技術等を提供しあい、助言等を行うことで、本研究会の目的を達成しようとするものである。

3. 研究会の活動内容

研究作業部会として、構成員が各々持ち寄ったトンネルの調査、設計、施工、維持管理に係る議題について議論するとともに、施工事例を発表し、情報共有することで、今後の合理的なトンネルの設計・施工に活用している。

4. 平成30年度の活動内容、成果

平成30年度の活動は以下のとおりである。

●研究作業部会：平成31年1月30日開催（広島市内会議室にて、26名出席）

①工事等報告（事例発表）

- ・(国)181号(江府道路) 宮ノ谷トンネル 設計・施工報告（鳥取県）
- ・(主)新見勝山線 月田本トンネル(仮称) 設計・施工報告（岡山県）

②議題討論（トンネルの調査・設計・施工に係る議題）

- ・吹付コンクリートの急結材について
- ・肌落ち防止ガイドラインに係る対策の費用について
- ・鏡吹付厚さの計測方法について
- ・覆工コンクリートの脱型時期について
- ・トンネル坑内の舗装について
- ・トンネル施工に伴う影響範囲や調査について

本会において、事例発表では、鳥取県、岡山県発注の2件のトンネルについて、各県の担当者から施工中の各現場における課題及びその対応策等について報告され、今後の他箇所における適用性を検討するとともに、情報共有を行った。また、それぞれが持ち寄ったテーマについて議題討論を行い、先進的な取組等の情報共有を行った。

キーワード トンネル、合理的設計、施工、発注者、中国地方

連絡先 〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下2丁目4番6号 岡山県庁道路建設課内（トンネル研究会事務局）

T E L 086-226-7469

今後同様な条件下でトンネルの設計・施工を行う場合、これらの情報を活用することで、より合理的な設計・施工が可能となるものとする。

5. 活動状況

(1) 作業部会 (H31. 1. 30)



工事等報告状況(月田本トンネル)



議題討論状況

6. その他の活動状況

この他に、NPO 法人臨床トンネル工学研究所が主催する技術講習会等へ参加し、最新のトンネルに関する情報や施工技術等について、報告を受けた。

- ・肌落ち防止ガイドライン公布後の実情勉強会 (H30. 6. 8)